



甘日市市  
地域支援員だより

2022

冬号



## 地域支援員とは

地域支援員とは、地域情報を発信したり、一緒に地域おこし活動をしたり、地域内外の交流をはかったりしながら、地域の力を強くするために甘日市の職員として1年単位で任用された人のこと。

任期は最長で3年間。その限られた時間の中で、何をやっているのか、佐伯や吉和でどんな動きがあるのかを知ってもらいたくて、この冊子を作りました。年に4回、お届けします。

マックスバリュ西日本株式会社の協力で浅原交流会館内に「無人店舗 おまかせくん 浅原交流会館店」が開店しました。11月4日（金）のオープニングセレモニーには、地元の方やテレビ、新聞各社の取材の方など多くの方が浅原交流会館に集まり盛大に執り行われたので、夕方のニュースなどで観られた方も多いのではないのでしょうか。

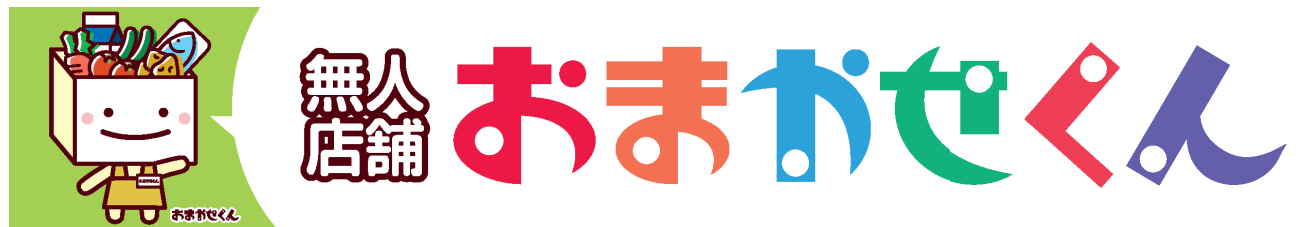
生もの、調味料、レトルト食品など約400品目を取り揃えており、値段は他のマックスバリュの店舗（ザ・ビッグ宮内店は異なる）の価格と変わりません。商品ラインナップについては、地域の声や季節にあわせて、適宜調整されています。

また、無人店舗が開店する以前は毎週木曜日の午後交流会館に来ていた移動販売車は、開店に伴い、小型になり、生鮮食品を中心に積んで、週3回（月・木・土）来られています。移動販売車と無人店舗を組み合わせれば、買いたいものが大体そろいます。今後は、浅原交流会館へ来られることが難しい方のために、浅原地区内を移動販売車で巡回することを試行しています。

これからもマックスバリュ西日本株式会社と協力しながら、誰もが安心して暮らし続けられる浅原に近づいていけたらと思います。  
（西本 智詞）

商品には、大豆加工品や麺類などの

# みんなに 便利なお店です



このロゴが目印です！



移動販売車



おまかせくん



このレジで支払いします。

## あさはらビジョン作成中！

浅原地域の住民のみなさんと一緒に、あさはらのビジョンを作成しています。このビジョンは「誰もが安心して暮らし続けられる浅原」を実現させるために作成しています。次回は1月22日（日）です。

今までのワークショップの様子などは、浅原の未来を創る会が発行している「あさはらビジョンづくりワークショップだより」から知ることができます。是非、二次元バーコードから確認してみてください。紙面を読んでいるかのように読めます。

VOL.2  
(2022年8月発行)



VOL.3  
(2022年11月発行)



# 3年ぶりに開催 くじまの森

## くじまの森 自由なマーケット

11月20日(日)に、玖島まちづくり交流拠点施設(通称・玖島花咲く館)において、3年ぶりに「くじまの森」自由なマーケットが開催されました。

「くじまの森」は、時代の移り変わりとともに人口が減少し、保育園も小学校もなくなってしまった玖島地区に、1年で1日でもいいから、多くの人に訪れてもらいたい、玖島に賑わいを取り戻したいという思いから、有志のみなさんが集まり始めたプロジェクトです。若い世代を惹きつけるクラフトやフードのお店が、玖島のまちに立ち並び、たくさんの方に楽しんでいただいていたと聞いています。そんな「くじまの森」もコロナで中止をやむなくされていましたが、



3年ぶりに復活！今回は、この4月に開館した、旧玖島小学校を改修した玖島花咲く館でコンパクトに開かれました。

当日は晴天に恵まれ、この日を待たれていた皆さんに足を運んでいただけました。玖島地区外から来てくださった方も多く、外から見るとさわかさる玖島の魅力も教えてもらえた気がします。1日だけでなく、ずっとこんな活気のあるエリアになれるように「くじまの森」の皆さんや地区の皆さんと力を合わせていきたいと思えます。(義志 裕子)



元気に遊ぶ子どもたちの姿も。



この日限りの特別メニュー「くじまの盛りプレート」は完売！



保護犬譲渡センターも来てくれました！



秋晴れの空の下、キッチンカーも盛況でした。

## 佐伯高校生と地域

地域に見守られながら

佐伯高校生は、毎年、多くの地域の行事に参加をしています。SAEKI QUESTという授業の一貫での参加、部活動としての参加、ボランティアとしての参加、学校全体での参加。

様々な関わりかたで、地域のみなさんと出会い、経験の場をいただいています。

今回は、今年の秋から冬にかけて、佐伯高校生が自主的に参加をした、地域のイベントを追ってみました。

### 9月ーココから2DAYS

津田商店街で開催されたイベントに、出店チームとボランティアチーム、合わせて19名の生徒が参加しました。

出店チームは、チュロス販売、お菓子釣り、スパーボールすくいのお店をだし、利益を来年度のイベント開催のための「たる募金」に寄付しました。



イベント出店にご協力くださった地域のみなさんと、出店チームの生徒たち「初めての出店は、とても楽しかった！利益で地域に貢献できたことも嬉しい！」

各店舗のボランティアをした生徒たちも、活躍しました。出店前

のテント張りや、販売などを行い「生徒が参加してくれて、自分達も元気が出る！」「助かったわ！」と地域の方が喜ばれていました。

### 10月ーいわくらマルシェ

津田にある岩倉ファームパークキャンプ場で開催されたマルシェには、15名の佐伯高校生が参加しました。

前月、ココから2DAYSで、店舗のお手伝いをした生徒たちが、お菓子釣りで出店しました。



子ども向けのわかりやすい看板をつくり釣竿は学校内で見つけた木の枝を使用「ボランティアの経験を活かして、自分達で出店をする決めていました！」

他にも、授業で地域活性化について探究している生徒たちはボランティアで参加し、軽音楽部の生徒はステージに出場しました。



### 11月ー合同文化祭

11月には、合同文化祭「演芸の部」と「創作展」に、学校が参加しました。

演芸の部では、佐伯高校生が一日を通して、司会を担当！



初司会にドキドキしながらも、しっかり役目を果たしました！

そらぎよく 箏曲や軽音楽のステージ、SAEKI QUESTの探究内容の発表も行い、別日に行われた「創作展」では、佐伯高校の展示部屋をいただき、日頃授業で作成した作品を展示しました。

### 12月ー佐北駅伝

年末に開催された佐北駅伝では、おでんとドーナツで出店。女子野球部はボランティアで活躍しました。



地域の出店者を手伝う生徒たち あるイベントの日、3年の生徒が「何も言っていないけど、3年ぶりです！」「お手伝いに来ました！」と、ボランティアに駆けつけ

けてくれました。1年生の時から、地域と関わっていく佐伯高校生にとって、地域のことが、自分ごとになっているのだと、嬉しく思いました。

地域との関わりを経験した、この佐伯高校生たちが、どう変化していくのか、今後、さらに面白くなっていくのではないかと想像が膨らみます。(松本 美由紀)

# 第4回よしわココマルシェ



10月30日(日)に、もみのき森林公園の駐車場スペースで、第4回よしわココマルシェを開催しました。

前回と打って変わって、晴天に恵まれマルシェ日和でした。少し風が吹いていたので、タープが飛ばされなにか心配でした。今回は11事業者さんに出店して頂き、ハロウィンということもあり、タープに飾り付けをしたり、出店者さんが仮装をして会場を盛り上げてくれました。

当日、もみのき森林公園では、マラソン大会が開催されていたり、紅葉の時期でもあったので、多くの方がもみのき森林公園に来られ、マルシェにも足を運んでくれました。

ゆっくりではありますがお客様が途切れることもなく、中には、行列の出来るお店もあり、今回のマルシェも大成功でした。



そして、今回も新たな方と繋がれたり、本来の目的である、地域内事業者さんと他地域の事業者さんとの繋がりがも出て、良かったと思います。やはり、「やり続けていけば、色々な方と繋がっていくんだ」と改めて思いました。今後もココから塾メンバーと協力して、吉和を盛り上げていきたいと思えます。

(深瀬 憲司)

## 吉和 謎解き?

## ウォーキング

10月22日(土)に、吉和地域でクイズやゲームをしながらウォーキングを楽しむイベントを開催しました。当日は天気にも恵まれ、地域内外から全19チーム40名の参加があり、秋を満喫しながら、ケガもなく、みなさん無事ゴール。賞品は、吉和ならではの特産品を受け取っていただきました。アンケートには、「非日常の景色を味わえた」「風やにおいが気持ちよく癒やされた」等々喜びの声が多くみられ、地域内外との交流を通じ、スタッフもやりがいのある良い一日になりました。

今後も交流イベント等を通じて、吉和に来ていただき、魅力を感じ吉和ファンの拡大を目指していこうと思えます。

(土橋 君枝)



# News & Information

## 令和4年度マコモタケ 試験栽培を終えて

初めてのマコモタケ栽培でしたが、無事に収穫を終えることができました。田んぼに入り、根元の白く膨らんだ部分を鎌で刈り取り収穫します。マコモタケの収穫作業はまるで宝探しをしているようで、とても楽しい作業でした。



普及活動の一環として、収穫したマコモタケを活用し、玖島花咲く館・浅原市民センターで試食会を開催させていただきました。マコモタケは様々な料理によく合います。試食された方からは「こんなに美味しいと思わなかった。」と感想をいただきました。また、地域の農家さんの力を借りて、消費者のみなさんにもPR活動を行うことができました。



試食会を行ったことで、地域の中でマコモタケの存在が知られてきており、来年栽培したい、マコモタケがほしい等の声もいただけるようになりました。来年は地域に根ざした農産物となることを目指して、栽培・普及活動に取り組んでいきたいです。

(中山 理公)

## 地域支援員

### (佐伯高校魅力化担当)

### を募集中!!

現在、任用している松本が今年度で任期満了となるため、令和5年度から佐伯高校の魅力化に一緒に取り組む仲間を募集しています。職務内容は、SNS等を活用した魅力発信、地域と連携した魅力化の取組の企画・運営、学校が行う魅力化の取組の支援、公営塾の企画・運営、下宿先の確保に向けたサポートです。申込締切は、2月2日(木)です。詳細等については二次元コードからご確認ください。

詳しくはこちら!!



お問い合わせ先

佐伯支所地域づくりグループ

0829(72)1112

## 編集後記

少しずつ各地でイベントが開催されるようになりました。この佐伯・吉和地域でも地域の方と協力をしてイベントが開催され、たくさんの方にお越し頂き、新たな繋がりが出来、うれしく思います。今後も地域内外の方と、繋がりを大切に頑張っていきたいと思えます。

(深瀬 憲司)